

平成31年度

千葉大学 理学部

物理学科・地球科学科

推薦入試 学生募集要項

平成30年7月

「理学部入学者受入れの方針」

理学部の求める入学者

理学とは宇宙，地球，生命，物質など，私たちをとりまく自然の謎を解き明かし，人類の英知を高めると同時に，広く社会の進歩に貢献することを目指す学問です。

そのために千葉大学理学部は次のような人の入学を求めています。

- 1.自然界の不思議に関心を持ち，それらを解明したいと思っている人
- 2.理科や数学に魅力を感じ，もっと学びたいと思っている人
- 3.自然科学を勉強し，社会の様々な分野で貢献したいと思っている人

さらに学問を究めるため大学院を目指すことも期待します。

物理学科の求める入学者

幅広い物理学の基礎知識と創造性豊かな科学的思考力を身に付けた人材の育成を目標として教育を行っており，物理学や数学の基礎的学力と，自然現象に対する旺盛な知的好奇心を持った人を求めています。

地球科学科の求める入学者

地球科学科では，幅広い地球科学の基礎知識と創造性豊かな思考力，国際性を身に付けた人材（技術者や研究者）の育成を目標としています。

地球科学の勉学に強い熱意をもって取り組み，総合的な基礎学力を有し，旺盛な探求心と多面的な思考力を持つ人，また得られた知識を基に社会に還元する意欲のある人を希望しています。

「入学者受入れの方針」の詳細は千葉大学理学部ホームページを参照してください。

千葉大学理学部ホームページURL：<http://www.s.chiba-u.ac.jp/>

趣 旨

<物理学科>

物理学科は、物理学に関する幅広い基礎知識の上に、創造性豊かな思考力を身に付けた人材の育成を目指して教育を行っています。この教育を受けるためには、高等学校で学んだ理科や数学に関する十分な基礎学力が必要なことは言うまでもありませんが、何よりも自然現象に対する旺盛な知的好奇心が重要です。本学科では、高等学校においてこれらの観点から高い評価を受け、学校長に推薦された者に対し、推薦入試を実施します。

<地球科学科>

地球科学科は、地球科学に関する幅広い知識を基礎として、専門技術が活用できる技術者、ならびに豊かな創造力と思考力を身に付けた研究者として活躍できる人材育成を目指した教育を行っています。この教育を受けるためには、高等学校で修得した数学や理科に関する十分な基礎学力を必要とすることは言うまでもありませんが、多様な地球科学現象に対する旺盛な知的好奇心を有することが何よりも重要です。本学科では、高等学校においてこれらの観点から高い評価を受け、学校長に推薦された者に対し、推薦入試を実施します。

1. 募集人員

学 科	募集人員
物 理 学 科	4 名
地 球 科 学 科	4 名

2. 出願資格

次の二つの要件を満たす者で、出身学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦するもの

<物理学科>

- ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、高等専門学校第3年次修了見込みの者を含む。）
- ② 調査書における数学の評定の平均値と理科の物理科目の評定の平均値がいずれも4.5以上で、物理学の学習に意欲をもっている者

<地球科学科>

- ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、高等専門学校第3年次修了見込みの者を含む。）
- ② 調査書における数学、理科の科目、そして英語の評定の平均値がいずれも4.0以上で、地球科学に関する様々な現象に強い興味を持ち、勉学に取り組む意欲をもっている者

3. 出願手続等

(1) 出願受付期間 平成30年11月1日(木)から11月2日(金)まで

(2) 出願方法及び出願書類の提出先

出身学校長は、(3)の出願書類等を取りまとめ、送付状(9ページ様式見本を参照)を添え、封筒のおもてに「推薦入試願書在中」と朱書し、出願受付期間内に必着するよう簡易書留郵便で送付してください。

提出先 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 千葉大学理学部学務係 電話 043-290-2880

※国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、一つの大学・学部のみです。

(3) 出願書類

出願に当たっては、次の①～⑦までの書類を提出してください。

なお、出願書類の作成に不明な点があるときは、理学部学務係へ問い合わせてください。

(注1) 出願書類に不備があると受理できませんので、間違いのないよう充分注意してください。

(注2) 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

①	志願票・受験票	この要項に添付の用紙を使用してください。 (注1) 「志願票」には、検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」(出納印が押印済のもの)を貼り付けてください。 (注2) 「志願票」「受験票」には、同じ写真(大きさ縦4cm×横3cm, 上半身, 正面, 脱帽で最近3か月以内撮影のもの)を貼り付けてください。
②	振込証明書 「貼付用 (大学提出用)」 (出納印が押印済 のもの)	出願する前に、この要項に添付の振込依頼書の※印の欄にフリガナ及び志願者氏名を記入のうえ、検定料17,000円を最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。 (振込手数料は本人負担となります。なお、ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また、ATM(現金自動預払機)は使用できません。) 振込後、銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」を、「志願票」の裏面に貼り付けて出願してください。 (注) いったん納入した検定料は、原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が所定の返還手続を行った場合は、検定料の全額を返還します。返還手続の詳細については、理学部学務係に確認してください。なお、平成31年3月29日(金)17時までに所定の手続を行ってください。
③	志望理由書	この要項に添付の用紙を使用してください。
④	調査書	文部科学省の定めた様式により出身学校長が作成しますので、出身学校に依頼してください。
⑤	推薦書	この要項に添付の所定の用紙により出身学校長が作成しますので、出身学校に依頼してください。
⑥	受験票送付用封筒	長形3号封筒(縦23.5cm×横12cm)に、志願者の郵便番号、住所及び氏名を書き、392円分の郵便切手(簡易書留料金を含む。)を貼ってください。
⑦	あて名シール	この要項に添付のあて名シールに記入してください。

4. 入学者選抜

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、提出された書類（調査書、推薦書、志望理由書）及び総合テストにより、第1次判定を行います。総合テストの出題内容は次のとおりです。

学 科	出 題 内 容
物 理 学 科	物理（物理基礎・物理）に関する事柄を中心に、それに関連した数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）を含めて出題し、思考力、理解力、表現力、論理性等を総合的に評価します。
地 球 学 科	地学（地学基礎・地学）に関する事柄を出題し、自然科学への関心の深さ、論理的思考力、文章表現力等を総合的に評価します。

第1次判定合格者に対して面接を行い、総合判定のうえ合格者を決定します。

大学入試センター試験は免除します。

(2) 選抜日時等

試 験 日 平成30年11月10日（土）

試 験 場 千葉大学理学部校舎

試験時間

学 科	総合テスト	面 接
物 理 学 科	9：00～11：00	14：00～
地 球 学 科		

注）第1次判定合格者は13：30（予定）に理学部掲示板に発表します。

5. 合格者発表等

入学者選抜の結果、合格者は平成30年11月30日（金）13時（予定）に理学部の掲示板に受験番号を掲示します。合格者には合格通知等を、また学校長へは合否について送付します。なお、電話等による問い合わせには応じません。

合格者は、平成31年2月又は3月に実施する国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、推薦を行った学校長から本学部に「推薦入試辞退願」を提出し、その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

また入学者選抜の結果、不合格となった者で、本学の平成31年度個別学力検査等の受験を希望するものは、平成31年度大学入試センター試験を受験していることが必要です。また、個別学力検査等の出願に際しては、新たに検定料を納入しなければなりません。

6. 入学確約書の提出

合格者は、入学確約書（本学より交付）を平成30年12月14日（金）までに必着するように簡易書留郵便で送付してください。その際、封筒のおもてに「入学確約書在中」と朱書してください。提出しなかった者は、入学の意思のないものとして取り扱います。

7. 入学手続

(1) 入学手続日時及び場所

合格者は、平成31年2月19日（火）9時から11時30分、13時から16時までに、理学部に直接出向いて入学手続を行ってください。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので充分注意してください。

(2) 入学手続の際に納入する経費

入学手続の際には、次の経費が必要です。

- ① 入学料 282,000円
- ② 学生保健互助会費 8,000円（4年分）全員加入（郵便局又はゆうちょ銀行で払込）
（疾病負傷の際に相互に救済し、進んで健康保持に寄与することを目的としています。）
- ③ 学生教育研究災害傷害保険料 4,660円（4年分、付帯賠償責任保険Aコース含む）
全員加入（郵便局又はゆうちょ銀行で払込）

（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償も含まれます。）

詳細は、学務部学生支援課へ問い合わせてください。

学生教育研究災害傷害保険：電話 043-290-2162

学生保健互助会：電話 043-290-2220

（注1） 授業料は、入学後の前期分授業料は5月に、後期分授業料は10月に口座引落により納入願います。口座引落手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。なお、前期分・後期分授業料はそれぞれ267,900円（年額535,800円）です。

また、平成32年度以降、前期分授業料は4月が口座引落の月となります。

（注2） 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

（注3） 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

（注4） 入学手続完了者が平成31年3月31日（日）17時までに入学を辞退した場合には、申し出により既に納入済の学生保健互助会費及び学生教育研究災害傷害保険料を返還します。

（注5） 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページ <http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html> をご覧ください。

入学料及び授業料免除に関する問い合わせ先

学務部学生支援課 電話043-290-2178

8. 身体等に障害を有する入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

(1) 事前相談の締切日

平成30年9月28日（金）

(2) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は理学部学務係に請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

(3) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、志願者本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

(4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 千葉大学理学部学務係 電話 043-290-2880
（土曜日、日曜日及び祝日を除き、9時から17時まで）

9. その他

- (1) 受験時に必要な注意事項は、受験票送付時に同封するとともに、平成30年11月9日（金）9時に理学部掲示板に掲示しますので各自確認してください。
- (2) 試験当日、受験票は必ず持参してください。
（受験票は入学手続の際にも必要ですので、大切に保管してください。）
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認められません。
- (4) 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (5) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、推薦入試の合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供されます。
- (6) 入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- (7) 宿泊施設は各自で手配してください。
- (8) 試験当日には、最寄りの駅から試験場周辺にかけて合否電報等の勧誘や物品の販売等をしていることがありますが、これらの行為は千葉大学とは何ら関係がありません。不当な料金を請求される等のトラブルにまきこまれないよう充分注意してください。そのような事故が生じても、千葉大学は一切責任を負いません。
- (9) この入試に関することは、理学部学務係へお問い合わせください。

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 千葉大学理学部学務係 電話 043-290-2880
（土曜日、日曜日及び祝日を除き、9時から17時まで）

10. 次年度入学者選抜の変更（予告）

<推薦入試>

平成31年度入学者選抜をもって理学部（物理学科）の推薦入試を廃止します。

<AO入試>

平成32年度入学者選抜から理学部（物理学科）で新たにAO入試を実施します。

募集人員	物理学科 4名
出願資格	<p>次の①～⑦のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成32年3月までに卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育（※）を修了した者及び平成32年3月までに修了見込みの者 （※）特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次が該当します。</p> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成32年3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成32年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成32年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成32年3月までに合格見込みの者</p>
選抜方法等	<p>提出された書類（調査書、自己推薦書等）により、第1次選抜合格者を決定します。第1次選抜合格者に対して、総合テストにより第2次選抜合格者を決定します。総合テストの出題内容は次のとおりです。</p> <p>物理（物理基礎・物理）に関する事柄を中心に、それに関連した数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）を含めて出題し、思考力、理解力、表現力、論理性等を総合的に評価します。</p> <p>第2次選抜合格者に対して面接を行い、総合判定により合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）</p>
出願期間	平成31年10月中旬（予定）
選抜期日	第1次選抜（書類選考）：平成31年10月下旬～11月上旬（予定） 第2次選抜（総合テスト）、第3次選抜（面接）：平成31年11月中旬（予定）
合格者発表	平成31年12月上旬（予定）
その他	なし

理学部物理学科案内

物理学は、私たちのまわりの自然界の諸現象の奥に存在する法則を、実験事実をよりどころとして追求する学問です。未知の自然現象を探求し、そこから自然界の構造、自然界の法則を明らかにしようとする努力が続けられています。物理学の対象は、素粒子、原子核、固体、液体などの凝縮系、星、銀河、宇宙というように、ミクロの世界からマクロの世界まで、自然界のすべてにわたっています。

物理学の進歩は、人間が世界と自然をどのように理解し、物事をどのように考えていくかという文化の基本課題に大きな影響を与えるとともに、電気、電波、半導体、コンピューター、X線やMRI等の医療機器、レーザー、原子力等々を通じて私たちの日常生活のあらゆるところに入り込んでいます。

このように、多岐にわたり豊富な内容を含んだ物理学の教育研究に対応するために、千葉大学理学部物理学科には、素粒子宇宙物理学、量子多体系物理学、凝縮系物理学の3つの教育研究領域が設けられ、それぞれ以下の分野で活発な教育と研究が行われています。

- ・素粒子宇宙物理学：素粒子物理学、宇宙物理学、粒子線物理学
- ・量子多体系物理学：原子核物理学、強相関電子系物理学、ナノサイエンス
- ・凝縮系物理学：生命・情報物理学、電子物性物理学、光物性・量子伝導物理学

各分野での具体的な教育研究活動の内容は、「千葉大学理学部案内2018」及び千葉大学理学部物理学科のホームページ (<http://physics.s.chiba-u.ac.jp>) をご覧ください。

さて、物理学のどの分野を探求するにも、その基礎になっている力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学などを十分修得することが必要不可欠です。「自然という書物を語る言語である数学」(ガリレオ)の修得も必要になります。

本学科では、これらの物理学の基礎科目と物理学に必要な数学の講義と演習、および実験指導が、きめ細かいカリキュラムに基づいてなされています。また、物性物理学、原子核物理学、素粒子物理学、宇宙物理学などの専門的な講義が数多く開講されています。

さらに4年次には、希望する分野の研究室に所属し、各専門分野の研究指導を少人数の形で受けることになります。これらにより物理学の基礎知識を身に付けることが可能になっています。

なお、特に優秀な成績を修めた学生には、3年間で大学を早期卒業し、大学院に進学できる制度も用意されています。

本学科の卒業生は、ここ数年を見ると80%以上の学生が大学院に進学しています。本学大学院融合理工学府物理学コースには、学部4年間で得た知識をさらに発展させ、より高度な物理学の専門知識を身に付けるとともに最先端の研究を行う教育プログラムが用意されています。

理学部地球科学科案内

地球科学科は地球内部科学と地球表層科学の2つの教育研究領域で構成されています。教育研究活動は、以下の7つの教育研究分野に分かれて行われています。また、環境リモートセンシング研究センター所属の関連分野の教員も教育研究に携わっています。各分野における具体的な教育研究活動については、「千葉大学理学部案内2018」および千葉大学理学部地球科学科ホームページ (<http://www-es.s.chiba-u.ac.jp/japanese/home.html>) をご覧ください。

[地球内部科学]

[岩石学・鉱物学]

火山の噴火現象や岩石の変成作用、地殻の発達、岩石と水の相互作用、鉱物中の欠陥や成長などの現象の解明に力を注いでいます。

[地球物理学]

地球物理学的手法を使い地球表面から地球深部までの構造およびその活動を知ることがを目的として教育研究を行っています。

[地殻構造学]

ミクロンスケールの岩石の微細構造から100kmスケールのプレートの構造に至る幅広いスケールの様々な構造を、地質学と地球物理学の両方の手法を用いて研究しています。

[地球表層科学]

[地史・古生物学]

生物学的および古生物学的視点から地球表層環境の変遷および生命史の教育研究を行っています。

[地形学]

地球表層システムを構成する圏構造（岩石圏・気圏・水圏・生物圏）のインターフェイスである地形の形成プロセスについて研究しています。

[堆積学]

堆積物や地層の記録に基づいて、堆積過程や堆積環境の高分解能、ならびに資源開発や沿岸環境の保全に関する基礎的研究を行っています。

[生物地球化学]

地球表層における様々な現象を、物理、化学、生物的手段を使って調査、分析し、地球環境の変動、物質循環、地球と生物の相互作用に関する研究を行っています。

(送付状様式見本)

平成 年 月 日

千葉大学理学部長 殿

学 校 名

学校長氏名

⑩

平成31年度千葉大学理学部推薦入試の出願について

標記の件について、下記の生徒の出願書類を添付のうえ、推薦いたします。

記

理学部 ○○学科 < 生徒氏名 >

推薦書記入上の注意

本人の学業、人物、その他についての記入は、単に「まじめである」「よく活動する」というような概評ではなく、なるべく具体的事実をあげて記入してください。

記入には黒のインク、又は黒のボールペンを使用してください。

1. 学 業

- (1) 3か年にわたる学年ごとの学年全体での成績順位<何人中何位>及びクラスでの成績順位<何人中何位>を記入してください。もし、順位が出ていない場合は、推定の順位を記入してください。
- (2) 物理学科志願者については「物理」の学習状況について、地球科学科志願者については「理科」の科目の学習状況について、担当教員の具体的評価を別枠に記入し、推薦理由を特記してください。
- (3) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性あるいは理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。
- (4) 本人を推薦される根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。
- (5) 得意な科目、不得意な科目、嫌いな科目等について記入してください。

2. 人 物

人物、性格について本人の特性をよく表現するような事実、課外活動状況などをここに記入してください。

3. その 他

- (1) 本人の趣味、特技、生活態度等について記入してください。
- (2) 地球科学科志願者については、調査書に記載された評定が絶対評価であるのか、相対評価であるのかについて記入してください。